

学校 教育 目標	○自ら学ぶ子 知: 自ら進んで学習に取り組み、見方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子を育てます。(学び続ける子) 徳: 多様な人とのかかわりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手を大切にすることを育てます。(共に生きる子) 体: 自分の体や心に関心をもち、健康的な生活を送ろうとする子を育てます。(健やかな子) 公: 地域の材に学びながら地域に愛着をもち、地域に進んでかかわろうとする子を育てます。(浦島の子) 開: 多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子を育てます。(未来を創る子)					
	学校概要	創立 102 周年	学校長 鳥山 真	副校長 長島 真弓	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 3
児童生徒数: 546 人		主な関係校: 浦島丘中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	浦島丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<課題解決能力> <自分づくりに関する力>	浦島丘中学校 浦島小学校 子安小学校 神奈川小学校	人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子 ・9年間で育てる子ども像を共通理解していくために、小中担当者会で取組について話し合ったり、年間2回の授業研究会を行ったりする。 ・児童生徒交流日等を通して、6年児童が中学校生活を理解し、スムーズに中学校生活をスタートできるようにする。 ・中学校吹奏楽部のコンサート鑑賞を通して、児童の中学校への理解を深める。

中期 取組 目標	○人、社会、未来とのつながりを大切にする子どもを育てます。 ・多様な人と学ぶ中から、人権意識の高い子どもを育てます。 ・意欲的に取り組む学びを通して自分の生き方を考え、持続可能な社会づくりを意識できる子を育てます。 ・地域で活動する人の姿から学び、地域とのつながりを大切にする子を育てます。 ・子どもたちの学びの充実のために、学校・家庭・地域で教育活動について見直します。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①情報機器を有効に活用した授業の在り方を幅広く研究していく。 ②学習指導要領に基づいて、教育課程全体で育成を目指す資質・能力を意識し、教科等間の相互の関連付けや横断を図った年間の学習プランを立て、実践し、改善する。
担当 重点研・カリ評価部	
豊かな心	①相手意識をもって1年間継続的にあいさつができるように、年間計画を立て、定期的な振り返りと目標設定をする機会をつくる。 ②年間を通して、資質能力を明確にした定期的なたてわり活動を行う。異学年との交流を深め、他者との関わり方を学ぶとともに相手のことを考えて行動する力や思いやりの心を育む。
担当 A部会・B部会	
健やかな体	①児童自らが自分たちが健康に過ごすために大切なことを考え、行動に移していけるように工夫する。 ②いきいきタイムでは、長縄や短縄、ペース走に取り組み、運動への興味関心を高めるとともに、体力の向上と健全な心身の育成を図る。
担当 C部会・体育部	
児童生徒指導	①職員会議、児童指導部会での情報の共有を図るとともに、関係機関の協力を得て、本校の児童の実態に応じた研修を充実する。児童指導年間計画に基づき全校でぶれのない指導を行っていくことできるように、学年研などで定期的に振り返りを行う。
担当 A部会	
地域連携・ 学校運営協議会	①生活科や総合的な学習などで、地域の材を生かした学習に取り組み、地域に関わろうとする態度や大切にしようとする気持ちを育む。 ②年3回学校運営協議会を実施し、学校教育についての理解をより深めていただくとともに、協議会での意見を教育活動の改善につなげる。
担当 教務・生活総合部	
特別支援教育	①さわやか教室や国際教室の取り出し指導を効果的に行い、配慮を要する児童への指導・支援を充実させる。 ②一人ひとりに合った指導・支援を充実させるために、学校カウンセラーや関係機関と連携し、教職員の特別支援教育への知識・理解を深める。
担当 特別支援委員会	
	c7
担当	
	c8
担当	
いじめへの対応	①対策委員会や児童指導部会で、未然防止のための学年風土づくりについて話題にし、学年に応じた具体的な取組を考える。 ②認知したいじめ案件を管理し、月1回の対策委員会で他学年の情報を共有し、学校全体の問題として解決に向け組織的に取り組む。
担当 A部会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①年間を通してメンター研修を行い、授業力など教職員としての力をより高めていく。 ②全学年で教科分担制を取り入れ、授業づくりの力を高めたり、協働して学年経営にあたりたりする。高学年ではチーム学年経営を研究し、授業力の向上や学級経営力の向上、時間の有効な活用方法の在り方について追究する。
担当 メンター・教務	